

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社紀文食品		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒104-8101 東京都中央区銀座5-15-1	
本票作成	部署名：生産効率課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	水産練製品				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山総社工場		岡山県総社市井尻野700番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 2.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	13,682 t CO ₂			13,408 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	岡山総社工場		13,682 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.854 t CO ₂ / (t)	0.837 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

ここ3年間は、省エネ対策予算を申請してもらっています。毎年申請していきます。その為、初めの2年間は、照明設備に予算を使用して、水銀灯からLEDへと変更しました。又、今期においては、高効率型のコンプレッサの導入も決まっています。更に、外部による省エネ診断も予定しています。この事から、更なる省エネが見込めると考えています。

【目標削減率達成のための推進体制】

エネルギー管理委員会を定期的を開催して、他工場などで実施している削減対策を参考にしている。又、日々、使用電力量、使用ガス量など、数値を確認して設備の異常などによる無駄や、ロスを監視している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山総社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の見直し（照明の間引き、LED照明の導入） ・冷却設備の室外機への散水、散水時期前倒し、遮光カーテン設置 ・加熱設備への保温材取付け（放射熱制御）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山総社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・照明設備の見直し、LED照明の導入推進 ・高効率型コンプレッサーへの入替 ・室外機への散水装置見直し（散水量の増加、空調室用外機も含む） ・老朽化設備の入替、メンテナンスによる効率化

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	毎年、廃油の売買により燃料に再利用している
その他	無	

【その他特記事項】

--